



アドバンスト・メディア、
放射線画像診断レポート音声認識システム **AmiVoice® Ex Rad** を
大阪先端画像センターに導入！
～遠隔診断現場のより一層の業務効率化を推進～

株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役社長：長谷川一行 以下、アドバンスト・メディア）は、大阪大学が中心となって設立した NPO 法人の読影委託業務先である、株式会社大阪先端画像センター（本社：大阪府吹田市、代表取締役：小林 宏行 以下、大阪先端画像センター）に放射線画像診断レポート音声認識システム **AmiVoice® Ex Rad** を導入、2009年8月より運用を開始いたします。

現在の医療現場は、慢性的な医師不足と緊急医療の増加などから、マンパワー不足が顕在化しており、その解決策のひとつとして、IT 技術とネットワークを活用した遠隔医療が注目されています。

特に、放射線部門においては、全国に 4500 人の放射線専門医が在籍していますが、全医師に対する割合は 2% 足らずという状況であり、且つ、検査機器の処理能力向上により、爆発的に増加し続ける読影量に対応するために、医療現場における遠隔読影サービスのネットワーク化のニーズが高まっています。

また、作業効率化の観点から、撮影・検像・画像診断までのワークフローの完全フィルムレス・ペーパーレスの運用が急速に進んでおり、これを支える読影作業においては、より一層の効率化が求められています。

このような状況の中、大阪先端画像センターでは、大阪大学放射線医学講座および核医学講座が設立した NPO 法人大阪先端画像医学研究機構と連携して、病院や診療所から通信回線を通じて送信された各種放射線検査画像を放射線専門医が読影、所見レポートを作成して返送し、質の高い画像診断を提供しています。

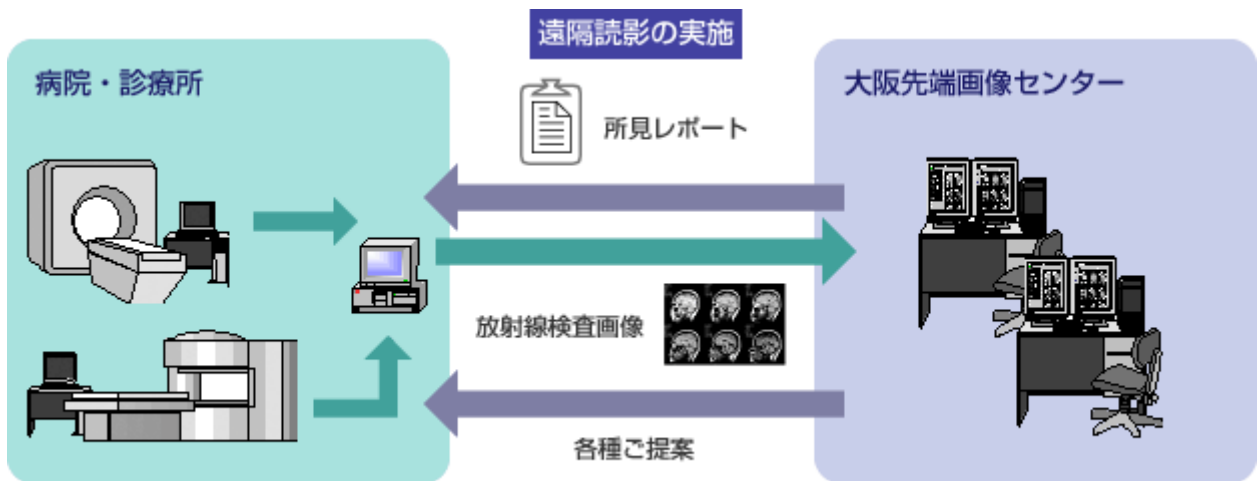
この度、同センターにおける読影作業の更なる効率化のために、導入施設 2,900（2009年3月現在）という高い導入実績と高度で高性能な当社音声認識技術を評価いただき、放射線画像診断レポート音声認識システム **AmiVoice® Ex Rad** を導入いただきました。当システムの活用で、読影結果を音声で入力することによって、煩わしいキーボード入力の負担と時間を大幅に軽減することができます。また、短時間でのレポート作成が可能になり、より多くの検査件数をこなすことができ、医療現場における事務作業効率化が期待できます。

大阪先端画像センター放射線科の三原医師は「**AmiVoice® Ex Rad** を導入することで、所見入力効率が 2・3 割アップしました。音声認識率もほぼ完璧で、もうキーボードで所見を入力する気にはなれません。今後はこの高い技術を応用して、病院情報システムを音声でコントロールできるような、ユーザーフレンドリーなツール開発を目指していただきたいと考えています。アドバンスト・メディアの技術力を持ってすれば、遠くない未来にこの夢が実現できるのではないかと強く期待しております。」と述べています。

今後も同様の遠隔読影のニーズは、一層高まることが予想されますので、当社は、他の遠隔読影サービス会社に対し、放射線画像診断レポート音声認識システム **AmiVoice® Ex Rad** の導入を推進し、3 年間で、100 施設の導入を目指します。

また、当社は、ユーザのニーズを踏まえ、これまでに培った医療分野におけるノウハウを生かし、最先端医療の高度化に対応した、幅広い医療現場での音声入力の需要拡大を目指します。

以上



【会社概要】

<株式会社アドバンスト・メディア>

社 名： 株式会社アドバンスト・メディア

代 表 者： 代表取締役会長 鈴木 清幸・代表取締役社長 長谷川 一行

本 社： 東京都豊島区東池袋 3-1-4 サンシャインシティ文化会館6階

U R L： <http://www.advanced-media.co.jp/>

設 立： 1997年12月

資 本 金： 43億77百万円(143,602株)(2009年3月末日現在)

事 業 内 容： ◆**AmiVoice**®を組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューション事業」
 ◆**AmiVoice**®を組み込んだアプリケーション商品を提供する「ライセンス事業」
 ◆企業内のユーザや一般消費者へのサービスに**AmiVoice**®を提供する「サービス事業」

■アドバンスト・メディアについて

アドバンスト・メディアは、独自の音声認識等の技術**AmiVoice**®により、“声”で文章入力などができる各種ソリューションを提供してきました。**AmiVoice**®音声認識エンジンは、利用者毎に声の事前学習（エンロールメント）を行うことなく、すぐに音声入力できます（不特定話者対応）。医療・教育およびエンターテインメント・議事録・コールセンタ・ビジネスソリューションの分野で主に利用されています。例えば医療分野においては、導入施設が2,900を超えるまでとなり(2009年3月末日現在)、医療診断の効率化に貢献し、その導入効果が高く評価されています。2008年には音声認識技術**AmiVoice**®を活用した「音声入力メール」が、経済産業省の外郭団体である独立行政法人・情報処理推進機構（IPA）主催の「ソフトウェア・プロダクト・オブ・ザ・イヤー®2008」（SPOTY2008）を受賞しました。

■大阪先端画像センターについて（URL: <http://www.oamic.co.jp/>）

大阪大学放射線医学講座および核医学講座が中心となり、先端画像医学に関する多施設共同研究や民間機関との共同研究を支援し、さらには国内外の研究状況についての情報を収集する活動や社会一般に対する広報活動を行うことによって、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とした、特定非営利法人大阪先端画像医学研究機構（略称：OAIMRG）が設立されました。この法人の事業の1つとして、「遠隔読影サービス提供」の実施が採用され、そのシステム構築や管理を担当する会社として、株式会社大阪先端画像センターは設立されました。

【本件のお問い合わせ】

報道関係	お客様
経営企画部 広報チーム	プロダクト事業部 梶原
TEL:03-5949-2007	TEL:03-5958-1045
FAX:03-5958-1032	FAX:03-5958-1033
E-mail: press@advanced-media.co.jp	E-mail: info@advanced-media.co.jp

【Copyright・商標】

Copyright 2009 Advanced Media, Inc.

AmiVoice[®]およびロゴマークは、アドバンスト・メディアの登録商標です。

記載の会社名および製品名は、各社の登録商標および商標です。